

2017年10月19日

東武鉄道の乗降人員 最大駅における安全性を向上

2017年10月16日から
東上線 池袋駅のホームドア設置工事に着手しました

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2017年10月16日（月）から東上線池袋駅のホームドア設置工事に着手しました。

ホームドアは、ホームでの安全性およびバリアフリー化の向上を目的に、国および自治体のご協力のもと設置するもので、当社としては東武アーバンパークライン 船橋駅、柏駅、東上線 和光市駅、川越駅（今年度中に使用開始予定）に続き5駅目の導入となります。

当社では、2020年度末までに池袋駅、川越駅を含め8駅、2021年度以降さらに23駅にホームドアを設置する予定です。今後もお客様により安全に安心して駅ホームをご利用いただけるよう、整備を推進してまいります。

詳細は、以下のとおりです。

1 設置箇所

東上線 池袋駅ホーム

2 工事着手時期

2017年10月16日（月）から順次

3 使用開始時期（予定）

2018年5月から順次



△ 池袋駅ホームドア設置イメージ

※ホームドアの整備計画については2017年1月12日付ニュースリリース「ホームドアの整備を積極的に推進します」をご参照ください。 (http://www.tobu.co.jp/file/pdf/02c1e2c230571d7cee5c630ee78d5436/170112_1.pdf?date=20170112123904)

以上